

有明アリーナの類似施設の状況

資料5-2

施設名		東京体育館	代々木競技場第一体育館	さいたまスーパーアリーナ	横浜アリーナ	
立地条件	所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1	東京都渋谷区神南2-1-1	埼玉県さいたま市中央区新都心8番地	神奈川県横浜市港北区新横浜3-10	
	交通アクセス	都営地下鉄大江戸線「国立競技場駅」、JR総武線「千駄ヶ谷駅」徒歩1分	JR山手線「原宿駅」、東京メトロ千代田線「明治神宮前駅」、副都心線「明治神宮前駅」徒歩5分	JR京浜東北線、宇都宮線、高崎線「さいたま新都心駅」徒歩すぐ	横浜市営地下鉄「新横浜駅」徒歩4分、新幹線、JR横浜線「新横浜駅」徒歩5分	
所有・運営形態	運営形態	指定管理者制度	独立行政法人による運営	指定管理者制度	民営	
	事業者	【所有者】東京都 【指定管理者】公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ	【所有者】【管理運営者】 独立行政法人日本スポーツ振興センター	【所有者】埼玉県 【指定管理者】株式会社さいたまアリーナ	【所有者】横浜市 【管理運営者】株式会社横浜アリーナ	
施設概要	メインアリーナ	面積	3,220㎡	4,000㎡	7,100㎡ (アリーナモード時のメインアリーナ)	8,000㎡
		収容人数	10,000人 (固定席6,000席、仮設席4,000席)	13,243人 (固定席9,119席、仮設席4,124席)	22,500人 (うちラムダシステムによる可動席2,272席、スライド式可動席約13,000席) ※スタジアムモードであれば最大約37,000人	17,000人 (うちラムダシステムによる可動席11,000席)
		床仕様	木床	木床	ラムダ床部分は木床、周辺部分はコンクリート	ラムダ床部分は木床、固定通路部分はコンクリート
	サブアリーナ	面積	1,330㎡	なし	7,500㎡ (アリーナモード時のコミュニティアリーナ)	1,036㎡
		収容人数	観覧席なし	なし	約3,000人(ロールバック可動席、仮設席約3,000人分増設可)	観覧席なし
	その他施設	屋内プール、陸上競技場、多目的コート、トレーニングルーム、スタジオ、健康体力相談室、会議室、レストラン・カフェ・売店等	来賓室、ラウンジ、売店 (代々木競技場としては、他に第二体育館、フットサルコート、屋内プール、会議室等がある)	展示ホール、ラウンジ、貴賓室・スイートルーム、キッズルーム (さいたまスーパーアリーナとしては、他に会議室・スタジオ、レストラン・カフェ・売店等がある)	センテニアルホール(多目的ホール)、ボックス席(個室)、コミュニティスペース(多目的スペース)、会議室、音楽・ダンススタジオ、カフェ、売店、コンビニ	
	休館日	不定期(毎月1~3回程度)	なし	なし	なし	
開館時間	・メインアリーナ 9時~21時(延長可) ・サブアリーナ 9時~21時 ・トレーニングルーム、屋内プール、陸上競技場 平日9時~23時、土曜9時~22時、日祝9時~21時	9時~21時(延長可)	0時~24時	8時~23時(延長可)		
利用料金の設定方法	同一条件における比較	アマチュアスポーツ ※休日に入場料無料の試合(終日)を開催した場合の利用料金	367,000円	426,900円	6,270,000円	(現行)4,500,000円 (2016年7月~)5,500,000円
		興行 ※休日に入場料有のイベント(終日)を開催した場合の利用料金	3,563,000円 (入場料3,000~7,000円)	6,480,000円 (入場料4,320~6,480円)	6,270,000円	(現行)5,500,000円 (2016年7月~)6,500,000円
イベント概要	スポーツ	プロ	格闘技等	—	UFC Fight Night(格闘技)等	WWE Presents RAW World Tour(プロレス)
		国際大会	ワールドグランドチャンピオンシップ(バレー)等	FIVBワールドカップバレーボール 世界フィギュアスケート国別対抗戦等	フィギュアスケートJapan Open	(世界卓球選手権(2009年))
		国内大会 その他	全日本バレーボール高等学校選手権大会、Vプレミアリーグ(バレー)等	全日本体操競技団体選手権大会等	少林寺拳法全国大会等	神奈川県マーチングバンドフェスティバル
	その他	興行	サーカス、アーティストのライブ等	アーティストのライブ、アイスショー等	外国人アーティストのライブ、アイスショー等	アーティストのライブ、アイスショー等
その他	その他	集会、就職面接会等	就活イベント、ファッションショー、展示会等	入試相談会、成人式、講演会等	成人式、式典、物販催事等	